

UBS中国A株ファンド (年1回決算型)

愛称：桃源郷

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
設定日	2009年9月18日	
信託期間	2009年9月18日から2045年9月25日	
運用方針	「UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)」および国内投資信託であるUBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け) を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を図ることを目標とします。	
主な投資対象	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	上海証券取引所および深セン証券取引所のA株を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指します。
	UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	UBS短期円金利プラス・マザーファンド受益証券を通じて、または直接わが国のCP (コマースナル・ペーパー)、政府短期証券、コール市場等の短期金融商品および内外の円建ての公社債に投資を行うことにより、短期円金利を上回る信託財産の安定的な成長を目指して運用を行います。
主な投資制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③株式への直接投資は行いません。 ④デリバティブ取引 (法人税法第61条の5に定めるものをいいます。) の直接利用は行いません。ただし、指定外国投資信託および指定国内投資信託においてはデリバティブ取引を行う場合があります。その場合は、価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。 ⑤外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	毎決算時 (原則として毎年9月25日、休業日の場合は翌営業日。) に、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益 (評価損益を含みます。) 等の全額とします。 ②収益分配金額は、分配対象額の範囲で、委託会社が市場動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。 ③収益の分配にあてなかった利益の運用については特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。	

第15期 運用報告書 (全体版)
決算日 2024年9月25日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「UBS中国A株ファンド (年1回決算型)」は、去る9月25日に第15期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2024. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 分 配 金	期 騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率	純 資 産 額
			騰	落		
11期 (2020年9月25日)	円 53,715	円 0		% 23.2	% 93.5	百万円 7,952
12期 (2021年9月27日)	55,772	0		3.8	94.3	23,168
13期 (2022年9月26日)	52,530	0	△	5.8	99.2	15,550
14期 (2023年9月25日)	55,170	0		5.0	92.7	11,767
15期 (2024年9月25日)	49,132	0	△	10.9	96.1	6,436

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
		騰	落	
(期 首) 2023年 9月25日	円 55,170		% -	% 92.7
9月末	54,996	△	0.3	96.9
10月末	53,126	△	3.7	99.0
11月末	52,783	△	4.3	99.5
12月末	48,736	△	11.7	98.1
2024年 1月末	49,499	△	10.3	99.3
2月末	51,975	△	5.8	99.3
3月末	53,285	△	3.4	95.1
4月末	57,589		4.4	98.6
5月末	56,588		2.6	98.5
6月末	55,001	△	0.3	99.4
7月末	50,537	△	8.4	99.3
8月末	49,157	△	10.9	98.5
(期 末) 2024年 9月25日	49,132	△	10.9	96.1

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

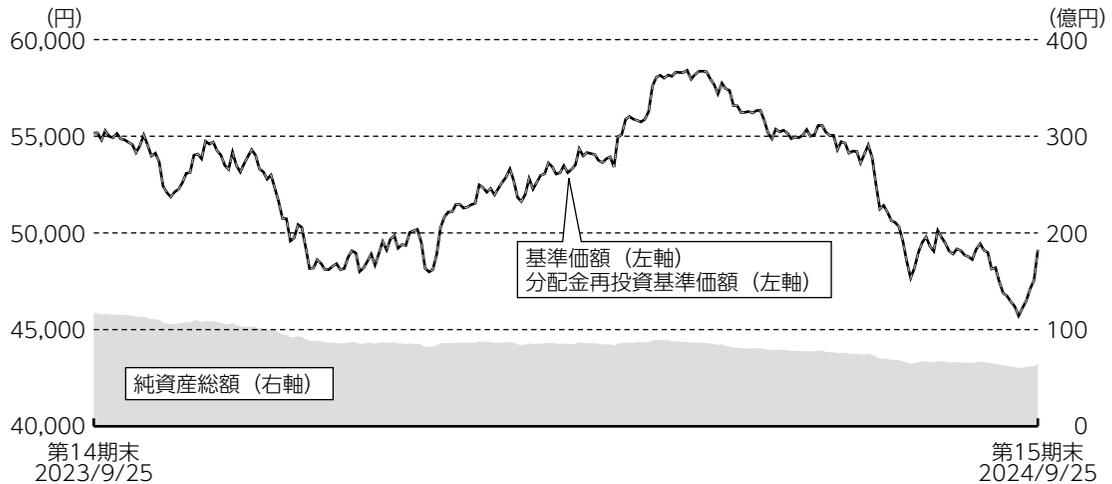
(注3) 当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数(参考指数)はありません。

(注4) 投資信託証券組入比率は、当ファンドの追加・解約と有価証券売買の計上タイミングがずれること等により、一時的に100%超の数値となる場合があります。

運用経過

基準価額等の推移について

(2023年9月25日～2024年9月25日)



第15期首：55,170円

第15期末：49,132円（既払分配金 0円）

騰落率：-10.9%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

当期の基準価額は、期首比で6,038円値下がりしました。なお基準価額の騰落率は-10.9%となりました。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、中国株式市場が大幅に下落した環境下で、実質組入株式の株価下落や信託報酬の負担などが重石となり、大きく値下がりしました。

投資環境について

当期の中国株式市場は大きく下落しました。

期の序盤から2024年2月序盤にかけては中東情勢の緊迫化や、中国国内の不動産市況の低迷などが重石となり、株価は下落基調で推移しました。2月中盤、春節（旧正月）の連休期間中における国内観光関連の消費が好調だったことが株価の支援材料となったほか、中国人民銀行（中央銀行）の緩和的な金融政策や、当局による景気刺激策への期待などから株価は回復基調に向かいました。しかし5月下旬以降は、ハイテク分野を巡る米中対立の激化への警戒感が広がったことや、中国経済の先行きに対する懸念の高まりなどから、株価は再び下落基調で推移しました。期末にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）が大幅な利下げを決定したことを受けて、市場でリスク選好姿勢が強まったことや、中国当局が大規模な支援策を発表したことなどを手掛かりに、買い戻しの動きが強まりました。しかし、中国株式市場は最終的に前期末比で大幅に下落して期を終えました。

人民元／円レートの推移



ポートフォリオについて

当ファンドのポートフォリオについて

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）およびUBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）を主要投資対象とし、期を通じてUBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）への投資割合は90%以上を維持しました。

UBS（CAY）ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（J Class）のポートフォリオについて

上海証券取引所および深セン証券取引所の中国A株のうち、各産業セクターを代表する銘柄を中心に投資しました。

●期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄

政府による料金引き下げ圧力の緩和と、5G（第5世代移動通信システム）向け投資が峠を越えたことで、収益性とキャッシュフロー創出力の改善、および資本還元（増配）余地の向上が見込まれることに加え、民間企業からシェアを獲得する形で、国有企業を中心に浸透するクラウド事業による成長の下支えも期待できると判断した国内最大の携帯電話サービス会社である中国移动（チャイナ・モバイル）を新規に組入れたことで、コミュニケーション・サービスのセクターウェイトを引き上げました。また、金融や生活必需品などのウェイトの引き下げを通じ、現金比率も引き上げています。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄

これに対し、金融については、不動産問題が中国の景気回復の重石となる時間帯が当面続くとの見通しの下、主力の生保事業での新規契約の伸びが鈍化すると懸念や運用環境の悪化などから、中国平安保険（集団）（ピンアン・インシュアランス）の保有比率を引き下げたほか、国内リテール事業の業況悪化が長期化する可能性を踏まえ、平安銀行（ピンアン・バンク）を売却したことなどにより、セクターウェイトを大幅に引き下げました。また生活必需品では、富裕層による根強い需要に支えられてきたプレミアム商品でさえも、景気不振の影響は免れない可能性が高まったものと判断し、老舗白酒メーカーの瀘州老窖（ルージョウ・ラオジャオ）を売却したことなどにより、同じくセクターウェイトを引き下げています。

※業種はGICS分類に準拠しています。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）のポートフォリオについて

マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国のコマーシャル・ペーパーを含む短期金融商品および内外の円建ての公社債を実質的な投資対象とし、利息等収入の確保を目指して運用を行いました。当期におきましては、利回りの優位性を勘案しつつ、無利子金融商品やコール・ローン等での運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズであり、運用の目標となるベンチマークや投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数（参考指数）はありません。

分配金について

当期は、基準価額の水準や市況動向等を勘案し、分配を行わないこととしました。分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳 (1万口当たり・税引前)

項目	第15期
	2023年9月26日~2024年9月25日
当期分配金	－円
(対基準価額比率)	(－%)
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	39,131円

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

投資環境の見通し

中国当局は、2024年9月終盤に予想を上回る大規模かつ、広範な支援策を打ち出しました。短期的に市場心理が過度に弱気になっていた中で、当局が実施した一連の政策強化に対して、市場は好反応を示し株価が大幅に上昇しましたが、この要因の一つとして過去3年間、世界の投資家が中国株式市場を大幅なアンダーウェイトとしてきたことが挙げられます。そのため、今回の当局の政策転換が世界の投資家に中国への投資回帰を促すことにつながったとみています。政府・当局が経済支援策を打ち出した結果、投資家心理の改善につながったことはプラスではあるものの、当局は2015年に生じた中国株式市場のバブルを再び引き起こすことは意図していないと考えており、今後もより慎重かつ段階的なアプローチが続くことが予想されます。他方、長期視点で、同国がより持続的に質の高い消費を維持するためには、家計消費に焦点を当て、社会保障費、もしくは消費者への直接的な財政支援などの対策を講じることが期待されます。

当ファンドでは、長期視点に基づくボトムアップ・アプローチにより運用を行っており、業界のリーダーで今後も競合他社を上回るパフォーマンスの実現が見込める企業を中心に組み入れています。今後も長期的な観点で優れた投資機会を有し、適正なバリュエーション水準にあると判断される銘柄に投資を行うとともに、当局の政策の進展状況なども注視してまいります。

当ファンドの今後の運用方針

UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) の投資比率を高位に維持する方針です。

UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class) の今後の運用方針

当ファンドは、銘柄選択を重視しており、長期的な勝ち組となり得る質の高い企業を発掘し、銘柄を厳選して投資を行います。今後もファンダメンタルズが良好な優良銘柄に割安な水準で投資できる機会をうかがいながら、運用を続けてまいります。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）の今後の運用方針

マザーファンドへの投資を通じて、短期金融市場の状況を注視しつつ、コール・ローン等で運用する予定です。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2023/9/26~2024/9/25		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	656円	1.243%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は52,772円です。
（投信会社）	(174)	(0.330)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(464)	(0.880)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(17)	(0.033)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	19	0.035	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(7)	(0.013)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(11)	(0.022)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.000)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	675	1.278	

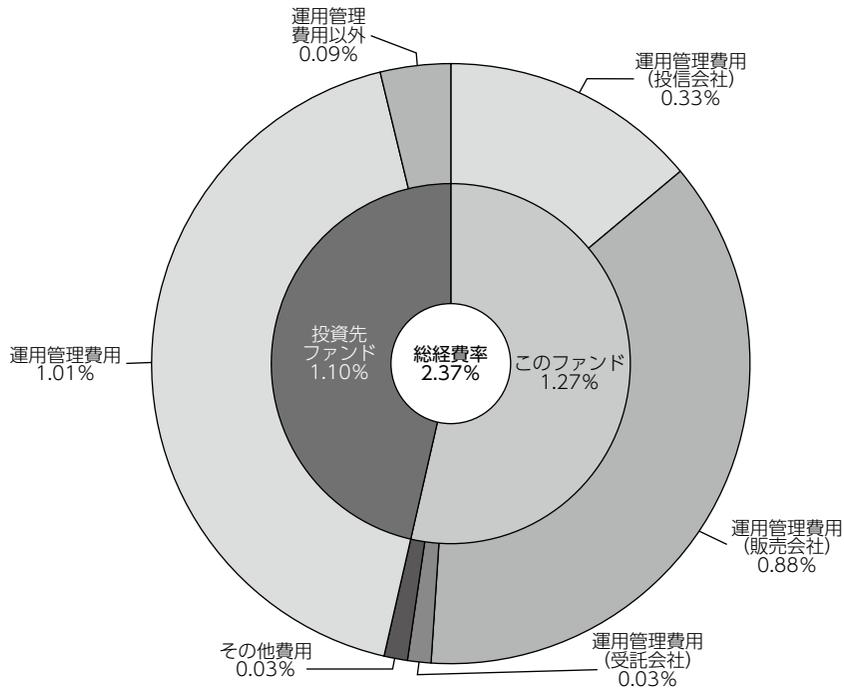
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

（参考情報） 総経費率



総経費率 (①+②+③)	2.37%
①このファンドの費用の比率	1.27%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.01%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.09%

- (注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) ②・③の費用は、当該投資先ファンドの期中の平均純資産総額で除して算出した概算値です。
- (注3) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注4) 各比率は、年率換算した値です。
- (注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注6) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。
- (注7) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.37%です。

期中の売買及び取引の状況 (自 2023年9月26日 至 2024年9月25日)**投資信託証券**

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
外国	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 8,091	千円 526,000	□ 69,255	千円 4,360,000

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

主要な売買銘柄 (自 2023年9月26日 至 2024年9月25日)**投資信託証券**

銘 柄	買 付		銘 柄	売 付	
	□ 数	金 額		□ 数	金 額
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 8,091	千円 526,000	UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	□ 69,255	千円 4,360,000

(注1) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等 (自 2023年9月26日 至 2024年9月25日)

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表 (2024年9月25日現在)**投資信託証券 (邦貨建)**

フ ァ ン ド 名	期 首	当 期		末
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・ファンド (適格機関投資家向け)	□ 30,343	□ 30,343	千円 30	% 0.0
UBS (CAY) ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド (J Class)	165,430	104,265	6,187,658	96.1
合 計	195,773	134,608	6,187,689	96.1

(注1) 単位未満は切り捨て。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合。

投資信託財産の構成

(2024年9月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 30	% 0.0
投 資 証 券	6,187,658	94.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	342,389	5.2
投 資 信 託 財 産 総 額	6,530,077	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年9月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	6,530,077,641円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	211,387,999
投資信託受益証券(評価額)	30,060
投資証券(評価額)	6,187,658,945
未 収 入 金	131,000,000
未 収 利 息	637
(B) 負 債	93,716,552
未 払 解 約 金	44,174,765
未 払 信 託 報 酬	48,012,669
そ の 他 未 払 費 用	1,529,118
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	6,436,361,089
元 本	1,310,026,364
次 期 繰 越 損 益 金	5,126,334,725
(D) 受 益 権 総 口 数	1,310,026,364口
1万口当たり基準価額(C/D)	49,132円

〈注記事項〉

期首元本額	2,132,931,426円
期中追加設定元本額	106,228,729円
期中一部解約元本額	929,133,791円
1口当たり純資産額	4.9132円

損益の状況

(自2023年9月26日 至2024年9月25日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 67,011円
受 取 利 息	20,750
支 払 利 息	△ 87,761
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 666,986,691
売 買 損 益	224,167,044
売 買 損 益	△ 891,153,735
(C) 信 託 報 酬 等	△ 110,011,454
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 777,065,156
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 320,175,345
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,223,575,226
(配 当 等 相 当 額)	(4,494,384,333)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,729,190,893)
(G) 計 (D+E+F)	5,126,334,725
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	5,126,334,725
追 加 信 託 差 損 益 金	6,223,575,226
(配 当 等 相 当 額)	(4,494,384,333)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,729,190,893)
分 配 準 備 積 立 金	411,450,712
繰 越 損 益 金	△1,508,691,213

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(4,714,884,013円)および分配準備積立金(411,450,712円)より分配対象収益は5,126,334,725円(10,000口当たり39,131円)ですが、分配を行っておりません。

<約款変更のお知らせ>

デリバティブ取引の利用目的をより明確にし、信託期間を延長する変更を行いました。（約款変更実施日：2023年12月26日）

UBS(CAY)ダイナミック・チャイナAシェア・ファンド（ケイマン籍外国投資信託）の運用状況

<参考情報>

当ファンドは「UBS中国A株ファンド（年1回決算型）」が投資対象とする外国投資信託証券です。

ご参考として掲載されている以下の包括利益計算書は、2024年2月29日現在の現地Annual Reportからの抜粋であり、現地の会計基準に基づき作成され、監査を受けたものです。なお、投資有価証券明細表は当該監査の対象外であり、未監査のものを掲載しております。また、同一銘柄でも保管形態が異なる場合には、別個に表記しています。

包括利益計算書

2024年2月29日に終了する会計期間
米ドル

収益	
受取利息	20,996
受取配当金	3,465,510
損益を通じて公正価値で評価する金融資産に係る純利益（損失）	(20,322,698)
為替取引に係る収益（損失）	(390,957)
損失合計	(17,227,149)
費用	
運用管理報酬	1,036,257
保管事務費用	84,239
監査報酬	37,370
役員報酬	37,578
専門家費用	23,744
取引費用	182,164
その他営業費用	53,070
営業費用合計	1,454,422
税引前営業利益（損失）	(18,681,571)
配当金に係る源泉税	(347,880)
税引後営業利益（損失）	(19,029,451)
償還可能証券保有者に帰属すべき純資産増加額（減少額）	(19,029,451)

2024年2月29日現在の投資有価証券明細表 (未監査)

	銘柄名	数量	簿価 (米ドル)	時価 (米ドル)
株式				
中国元				
	JOEONE CO LTD -A SHRS ORD CNY1	1,364,133	3,608,180.80	1,727,626.82
	JIANGSU HENGRUI MEDICINE C - A ORD CNY1	939,340	8,185,273.18	5,568,200.42
	KWEICHOW MOUTAI CO LTD A SHS ORD CNY1	31,500	9,294,684.81	7,422,583.67
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	1	11.13	6.93
	FUYAO GROUP GLASS INDUSTRIES CO LTD A SHS ORD CNY1	454,200	2,388,509.41	2,733,440.11
	CHANGSHA ZOOMLION HEAVY INDUSTRY SCIENCE AND TECHNOLOGY DEVELOPMENT CO LTD A SHS ORD CNY1	1,264,921	1,289,113.04	1,406,786.64
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	471,552	2,917,425.18	3,808,077.81
	LUZHOU LAOJIAO CO LTD A SHS ORD CNY1	121,843	4,113,213.95	2,976,944.67
	WULIANGYE YIBIN CO LTD-A SHS	76,000	2,014,110.31	1,502,936.78
	ANGEL YEAST CO LTD A ORD CNY1.000000000	515,349	3,920,182.92	2,412,950.23
	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP COMPANY LIMITED A SHARES	1,422,304	8,583,662.56	5,605,577.23
	SHANDONG DONG - E E - JIAO COMPANY LIMITED - A	121,082	699,229.85	977,813.00
	CHINA MOBILE LTD-A ORD CNY1.000000000	239,000	3,354,582.38	3,389,010.53
	BANK OF NINGBO CO LTD A SHS ORD CNY1	551,900	2,810,512.22	1,709,426.48
	CHINA MERCHANTS BANK COMPANY LIMITED A SHARES	1,626,565	11,028,042.78	7,245,006.46
	HANGZHOU SILAN MICROELECTRONIC ORD CNY 1	214,500	1,476,560.45	623,230.11
	PETROCHINA CO LTD A SHS ORD CNY1	2,054,800	2,300,649.08	2,525,205.16
	HANGZHOU TIGERMED CONSULTI-A SHRS ORD NPV	155,200	2,383,966.47	971,989.02
	YUNNAN BAIYAO GROUP CO LTD-A ORD CNY1	1,021,136	12,874,840.32	7,073,743.70
	PING AN INSURANCE GROUP CO A SHS ORD NPV	549,100	4,685,963.40	3,274,790.95
	WUXI APPTec CO LTD A SHRS ORD CNY1	246,106	4,370,761.55	1,863,949.53
	LUXSHARE PRECISION INDUSTRY CO LTD A-SHARES ORD CNY 1	416,167	1,879,384.49	1,595,646.74
	MIDEA GROUP CO LTD-A ORD NPV	863,934	10,345,667.72	7,522,077.84
	HUALAN BIOLOGICAL ENGINEERING INC A SHS ORD CNY1	403,447	2,891,169.33	1,106,594.28
中国元合計			<u>107,415,697.33</u>	<u>75,043,615.11</u>
株式合計			<u>107,415,697.33</u>	<u>75,043,615.11</u>
総合計			107,415,697.33	75,043,615.11

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

参考情報

当ファンドは、UBS中国A株ファンド（年1回決算型）が投資対象とする国内投資信託証券です。
ご参考として第15期決算日（2024年1月22日）の運用状況をご報告申し上げます。

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	税 込 配 分 金	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
				比	比	
11期（2020年1月20日）	円 9,967	円 0	% △0.2	% —	% —	百万円 40
12期（2021年1月20日）	9,953	0	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,938	0	△0.2	—	—	8
14期（2023年1月20日）	9,924	0	△0.1	—	—	8
15期（2024年1月22日）	9,910	0	△0.1	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2023年 1月20日	円 9,924	% —	% —	% —
1月末	9,924	0.0	—	—
2月末	9,923	△0.0	—	—
3月末	9,921	△0.0	—	—
4月末	9,921	△0.0	—	—
5月末	9,918	△0.1	—	—
6月末	9,918	△0.1	—	—
7月末	9,917	△0.1	—	—
8月末	9,915	△0.1	—	—
9月末	9,914	△0.1	—	—
10月末	9,913	△0.1	—	—
11月末	9,911	△0.1	—	—
12月末	9,911	△0.1	—	—
(期 末) 2024年 1月22日	9,910	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

分配原資の内訳（1万口当たり・税引前）

項目	第15期	
	2023年1月21日～2024年1月22日	
当期分配金	-円	
(対基準価額比率)	(-%)	
当期の収益	-円	
当期の収益以外	-円	
翌期繰越分配対象額	75円	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2023/1/21～2024/1/22		
	金額	比率	
信託報酬	4円	0.044%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は9,917円です。
(投信会社)	(1)	(0.011)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	運用報告書等各種書類の交付、口座内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.032)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
その他費用	0	0.003	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.003)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	4	0.047	

- (注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

親投資信託受益証券の設定、解約状況（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

	設		定		解		約	
	□	数	金	額	□	数	金	額
		千□		千円		千□		千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド		—		—		21		21

(注) 単位未満は切り捨て。

利害関係人等との取引状況等（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表

親投資信託残高

(2024年1月22日現在)

項目	期 首		当 期		評 価 額
	□	数	□	数	
		千□		千□	千円
UBS短期円金利プラス・マザーファンド		8,696		8,674	8,651

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

投資信託財産の構成

(2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBS短期円金利プラス・マザーファンド	千円 8,651	% 99.9
コール・ローン等、その他	11	0.1
投資信託財産総額	8,662	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年1月22日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,662,353円
コール・ローン等	10,622
UBS短期円金利プラス・マザーファンド(評価額)	8,651,731
(B) 負 債	1,970
未払信託報酬	1,888
その他未払費用	82
(C) 純資産総額(A-B)	8,660,383
元 本	8,739,342
次期繰越損益金	△ 78,959
(D) 受益権総口数	8,739,342口
1口当たり基準価額(C/D)	9,910円

〈注記事項〉

期首元本額 8,759,458円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 20,116円
 1口当たり純資産額 0.9910円
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は78,959円です。

損益の状況

(自2023年1月21日 至2024年1月22日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 8,677円
売 買 益	2
売 買 損	△ 8,679
(B) 信託報酬等	△ 3,887
(C) 当期損益金(A+B)	△ 12,564
(D) 前期繰越損益金	△ 68,752
(E) 追加信託差損益金	2,357
(配当等相当額)	(4,953)
(売買損益相当額)	(△ 2,596)
(F) 計 (C+D+E)	△ 78,959
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△ 78,959
追加信託差損益金	2,357
(配当等相当額)	(4,953)
(売買損益相当額)	(△ 2,596)
分配準備積立金	60,755
繰越損益金	△142,071

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (0円)、費用控除後の有価証券等損益額 (0円)、信託約款に規定する収益調整金 (4,953円) および分配準備積立金 (60,755円) より分配対象収益は65,708円 (10,000口当たり75円) ですが、分配を行っておりません。

UBS短期円金利プラス・マザーファンドの運用状況

参考情報

当ファンドは、UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け）が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ご参考として、第15期決算日（2024年1月22日）の運用状況をご報告申し上げます。

UBS短期円金利プラス・マザーファンド

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率	純 資 産 額
			比	比	
11期（2020年1月20日）	円 10,014	% △0.1	% —	% —	百万円 40
12期（2021年1月20日）	10,004	△0.1	—	—	15
13期（2022年1月20日）	9,994	△0.1	—	—	8
14期（2023年1月20日）	9,984	△0.1	—	—	8
15期（2024年1月22日）	9,974	△0.1	—	—	8

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 券 組 入 率	債 券 先 物 率
			比	比
(期 首) 2023年 1月20日	円 9,984	% —	% —	% —
1月末	9,984	0.0	—	—
2月末	9,983	△0.0	—	—
3月末	9,982	△0.0	—	—
4月末	9,982	△0.0	—	—
5月末	9,980	△0.0	—	—
6月末	9,980	△0.0	—	—
7月末	9,979	△0.1	—	—
8月末	9,978	△0.1	—	—
9月末	9,977	△0.1	—	—
10月末	9,976	△0.1	—	—
11月末	9,975	△0.1	—	—
12月末	9,975	△0.1	—	—
(期 末) 2024年 1月22日	9,974	△0.1	—	—

(注1) 基準価額は1万口当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

1万円当たりの費用明細

項目	当期 2023/1/21~2024/1/22		項目の概要
	金額	比率	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.001% (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 金銭信託手数料
合計	0	0.001	

※期中の平均基準価額は9,979円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

期中の売買及び取引の状況（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

該当事項はありません。

主要な売買銘柄（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

該当事項はありません。

利害関係人等との取引状況等（自 2023年1月21日 至 2024年1月22日）

期中の利害関係人等との取引はありません。

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等です。

組入資産明細表（2024年1月22日現在）

2024年1月22日現在、有価証券等の組入はありません。

（2024年1月22日現在）

投資信託財産の構成

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	千円 8,651	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	8,651	100.0

（注）金額の単位未満は切り捨て。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2024年1月22日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資 産	8,651,589円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,651,589
(B) 負 債	25
未 払 利 息	25
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,651,564
元 本	8,674,285
次 期 繰 越 損 益 金	△ 22,721
(D) 受 益 権 総 口 数	8,674,285口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	9,974円

〈注記事項〉

期首元本額 8,696,224円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 21,939円
 1口当たり純資産額 0.9974円
 純資産総額が元本を下回っており、その差額は22,721円です。

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

UBS短期円金利プラス・ファンド（適格機関投資家向け） 8,674,285円

損益の状況

（自2023年1月21日 至2024年1月22日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 8,831円
支 払 利 息	△ 8,831
(B) 信 託 報 酬 等	△ 130
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 8,961
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 13,799
(E) 解 約 差 損 益 金	39
(F) 計 (C+D+E)	△ 22,721
次 期 繰 越 損 益 金(F)	△ 22,721

（注1）損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注2）損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。